

あとがき



(2021)

戦中(昭和 18 年)生まれで、もはや後期高齢者！ 物忘れも物ともせず、何とかこの忙しい世の中で生き延びている。今や世は、我らの後輩「団塊世代」も加わっての本格的な老人社会がやってきた。

やれ断舍利だ・終活だ・家仕舞だ・遺言とやら・・・と世間は喧しい。

この度この冊子を纏めた事で、お陰様で自分自身の背中の大きな荷物の半分くらいは、下ろす事が出来たと思っている。

逆に編集途中で気が付いたのは、パソコンの記憶媒体に未だ残されている膨大なデータ

(俳句、写真、日記・手紙・・・)の事が気掛かりだ。とは言ってもこのまま、

はいさよならと言う訳にはいかない、記憶も衰え・目も衰え始めたが、整理だけはちゃんとしておこうと、

この年になって、大型(23.8 インチ)のパソコンも新たに買い求めた・・・まだまだ先は長い！

筆者略歴

1943 年 下関市生まれ

伊佐小・長府小、小倉富野小、小倉付属小、和木小
和木中、萩明経中、下関西高、福岡修猷館高・・・を経て
九州大学工学部建築学科卒

1966 年 宇部興産（株）に入社

宇部興産本社建築課（１級建築士事務所）にて建築設計監理
（本社事務所・各支店・寮・社宅・保養所・研修所・研究所・
技術センター・ゴルフ場施設・ホテル・病院・テレビ局・・・）

〒755-0067 宇部市小串 91-5 （0836-35-2663）在住